

事業分類	文化財 1	工事番号名	令和●年度 第●号 重要文化財●●保存修理工事	工事規模	建築 8,000万円～1.4億円
工事概要	●●の木工事、●●の屋根工事、●●の塗装工事等を行う。			工事場所	●○市△×町

工事特性ポイント

1. 工事内容の技術特性の難易度について

☐ ①根本修理のうち全解体工事

☒ ②その他、高度な耐震改修を伴う工事等、特殊な工事

2. 工事現場および周辺の環境・社会条件に関する難易度について

☒ ①地下階数、地下深度の深い建物や、支持地盤の軟弱な土地における工事

☒ ②掘削時等に湧水や地下水位の影響を受けることが考えられる工事

☐ ③特殊な気候条件により施工の制約を受けることが考えられる工事

☒ ④地滑り等の地質条件により施工の制約を受けることが考えられる工事

3. 工事現場および周辺の社会条件に関する難易度について

☐ ①工事用道路、作業スペース、既存利用施設との動線分離等制約を受ける工事

☒ ②地中埋設物等、地中内に工事の障害となるものがある工事

☒ ③工事に影響する架空線、近接建物等が存在する工事

☒ ④周辺への騒音、振動、粉塵等の配慮が特に必要な工事

☒ ⑤既存施設への騒音、振動、粉塵等の配慮が特に必要な工事

☒ ⑥周辺水域への水質汚濁等の配慮が特に必要な工事

☒ ⑦ガス・水道・電線等の移設や電波障害対応が特に必要な工事

4. マネジメント特性に関する難易度について

☐ ①近接工事や他工事との調整が特に必要な工事

☐ ②近隣住民への対応が特に必要な工事

☒ ③関係行政機関等との調整が特に必要な工事

☐ ④施設管理者や主管課等との調整が特に必要な工事

☐ ⑤工期・工程の制約が特に厳しい工事

☐ ⑥工種による工期・工程の制約が特に厳しい工事

☐ ⑦品質管理の煩雑さ、複雑さが特に存在する工事

☒ ⑧高所作業、夜間作業等の危険作業を伴う工事

☐ ⑨外来者の多い施設で、公衆災害対策が特に必要な工事

☒ ⑩特殊な廃棄物等の対応が必要な工事

工事毎に、該当する内容について「○」または「◎」をつける。
－：該当なし
○：該当する（１ポイント）
◎：該当し、特に配慮（注意）が必要（２ポイント）

工事難易度の説明

工事難易度	ポイント数	レベル
I	0～４ポイント	基本
Ⅱ	５～９ポイント	やや難
Ⅲ	10～14ポイント	難
Ⅳ	15～19ポイント	特に難
V	20ポイント～	極めて難

評価結果	事業分類P	+	工事特性P	=	小計	工事難易度	総合評価の採否、 および適用タイプ等	特別簡易Ⅱ型B
	4		10		14	Ⅲ		